

Title	第12回 ピア・スーパービジョン実施結果：アンケート集計結果の概要 (総合研究所 News：聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター Swnet(聖学院ウェルフェアネット：卒業生を中心とする福祉ネットワーク) 共催)
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.23-No.2, 2013.12 : 45-47
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=5032
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

聖学院大学人間福祉スーパービジョンセンター
Swnet（聖学院ウェルフェアネット—
卒業生を中心とする福祉ネットワーク）共催

第12回 ピア・スーパービジョン 実施結果—アンケート集計結果の概要



PSV風景

ピア・スーパービジョンとは保健・福祉現場などで対人援助の仕事をしている人たちが、同じ悩みや課題を持つ者として語り合い、日々の業務を見直すための研修交流会で、本学人間福祉学科卒業生を中心とした福祉のネットワークSWnet（Seigakuin Welfare Net）との共催である。前半は田村綾子先生（聖学院大学人間福祉学科准教授、社団法人日本精神保健福祉士協会副会長・研修センター長、認定スーパーバイザー）の講演を聞き、後半は3つのグループに分かれてピア・スーパービジョンを行った。

日時：2013年10月12日(土)13:30～16:30

場所：聖学院大学4号館4階第一会議室

【プログラム】

挨拶 牛津信忠（聖学院大学人間福祉学部長）

◆講演

「スーパービジョンの魅力～お互いの元気を育む
と時間～」

田村 綾子（聖学院大学人間福祉学科准教授、
社団法人日本精神保健福祉士協会

副会長・研修センター長、認定スー
パーバイザー）

スーパーバイザーから 卒業生の感話
高橋聖子

◆質疑応答

◆休憩

◆ピア・スーパービジョン

ピア・スーパービジョン

ピア・スーパービジョンとは？

本学卒業生 大島知子

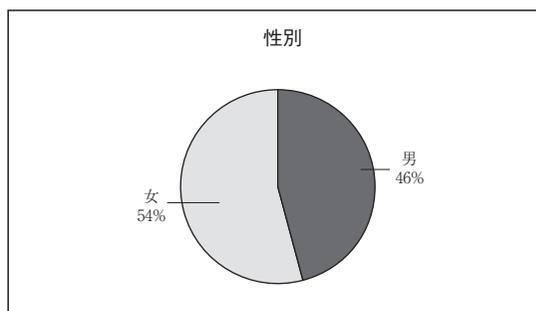
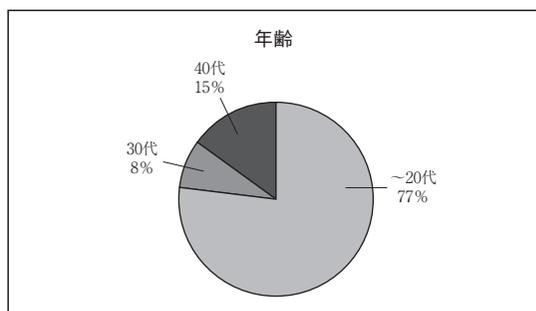
ピア・スーパービジョン（グループに分かれて
の話し合い）

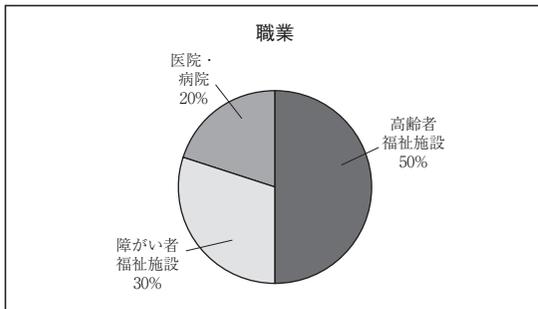
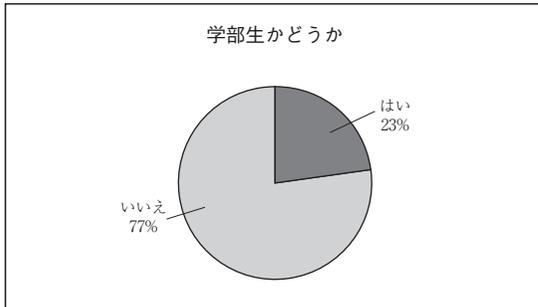
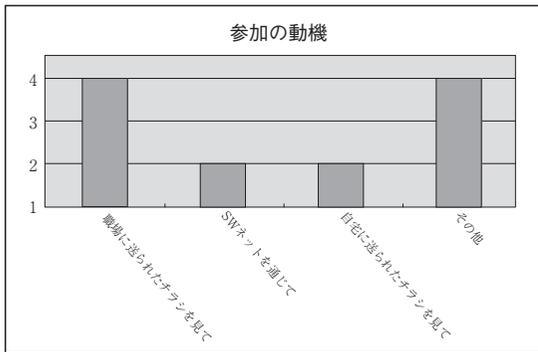
コメントとまとめ

閉会

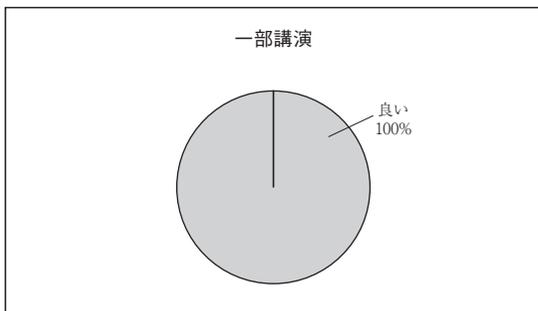
中村磐男（聖学院大学こども心理学科教授・人
間福祉スーパービジョンセンター長）

1.プロフィール





2. 第一部 講演

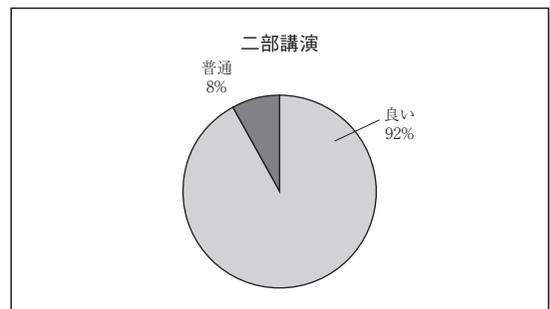


- ・相談することのリスクにとらわれていたが、試しに一步踏み出してみようかと思えた。
- ・スーパービジョンの仕組みを知ることができ、参考になった。スーパービジョンを体験した方の話を聞くことができ、参考になった。
- ・わかりやすく、実際のスーパービジョンがどのように行なわれているのか聞く事ができて参考

になりました。

- ・現在スーパービジョンを受けてはいますが、スーパービジョンについてわかってない部分もありました。今回はスーパービジョンの意義や目的について改めて学ぶことができ良かったです。また高橋さんの話では共感できる部分も多く、特にスーパービジョンを受ける事で、前向きにがんばっていけるようになった、というお話を聞き、そうしてところでも、スーパービジョンを受ける意義があるのだと思いました。
- ・高橋さんのお話で、やっぱり一人で悩んでいても分からないことだったら何も出来ないなどと思い、先生などに気軽に相談したほうが良いなと思いました。
- ・辛いことがあるからこそ、成長する。その成長が自分の宝物になると思った。
- ・スーパービジョンについて詳しく、理解が深まりました。
- ・今までこのような場があることを知らずに仕事していたので、自分だけで答えを探したりしていたのが現状でした。もう少し視野を広げて仕事をしていきたいと思います。
- ・スーパービジョンの内容を感じられた。
- ・今自分が受けているSVの原理や先生の思いを伺うことができ勉強になり、大事にしていたことを有難く感じました。

3. 第二部 講演



- ・悩みを話せたこと、他の方の意見が聞けたこと、何よりこういった場を知れたことがとても良かったです。
- ・違う現場で働く人の意見、悩みを聞く事が出来てよかった。今日の体験を今後の仕事に役立てていきたい。

- ・色々な場で活躍されている方々の色々な意見を聞く事ができ、私もそうだとか、なるほどとか、色々なものをもらい感じる事が出来ました。
- ・みなさんも同じように悩んだり、考えたりされていることが分かりました。安心して悩みなどを話せる場所があるのは大事なことなんだと思いました。
- ・それぞれ違う職場で働いている人の話しをして、気をつけているところなどを聞き、基本なこと、あいさつなどが大事だなと思い、貴重な話を聞かせてくれて良かったです。
- ・相手に相談することで救われる。これが難しいと思った。救われるには勇気がいるから。また、救われるということを知ったことで改めて、人間は一人では生きていけないと思った。
- ・プロフェッショナルとしての悩みは、とても共感できた。
- ・スーパービジョンでは、自分の得たことがありいろいろ悩んだり、自分で問題を解決は正しいと思う。スーパービジョンは目的を持って、目標として理解し、向き合って素直に行くことだと思う。
- ・職場ではなかなか話すことができないことをみなさんに聞いていただけて、良かったです。人生の先輩の方々との繋がりができて、良かったです。明日からもがんばります。
- ・話をすることで、自分の振り返りになった。

向き合えないと思う。人の気持ちを上手く考えることが重要だと思った。

その他の意見や希望など

- ・ありがとうございます。また機会がありましたら参加させていただきます。
- ・始めは年上の人たちで緊張していましたが、グループでの話で楽しくできました。1時間があっという間でした。本当に来て良かったと思いました。
- ・このスーパービジョンを受けることにより、自分への課題を探し、見つけ、それを直していく事で成長することを学びました。
- ・他の方と話す機会がなかなかなく、良い機会でした。
- ・福祉の仕事に就いたとき、自分が悩んだりもありますが、じぶんのコントロールが出来ないと、